



令和6年4月12日(金)教育厚生委員会所管事務調査報告

視察先：静岡県立東部特別支援学校、伊豆医療福祉センター

委員長 三田 忠男

目的：先の陳情後の取り組みの一環で、現状のリアルな情報収集に努め、請願行動の支援を行う際の参考に資すべく、知見を向かめるための現場の所感事務調査を実施した。

感想：多くの議員は、現場の状況、説明を受けリアルな現状から、多くのことを学んだ様子が、伺われました。

医療福祉センターでの意見交換で、「政治に期待しています。」との言葉は、重く受け止めたいと思います。

伊豆市での「子育て全力宣言」にふさわしい、伊豆市の子供は、障害があろうとなかろうと、分け隔てなく、個々人の支援の必要度に応じた量の支援をしてこそ、平等公正と考えます。

まさに、共生社会の地域づくりに他なりません。

義務教育の学校の特別支援体制は、差別選別という批判はありますが、手厚い職員配置がなされていますが、いざ、卒業すると、社会福祉、社会教育、社会体育の面からも、支援体制の不備が指摘され、当事者や家族からは、社会に対する不満が聞かれます。

少しでも、当事者の声に耳を傾け、分からないことは、議員間で勉強研鑽し、伊豆市の生活で必要なことが少しでも整うよう、環境整備を図ることが議会に求められていると改めて感じた、所管事務調査でした。

子育てに困難を抱えているご家族が、少しでも我が子のためになるよう他市へ移住していく現状は、止めなければなりません。

今後、委員会としての協議の場を持って、今回の意見交換を行い、今後の対応を検討していきたいと思います。

合わせて、行政当局も一緒に視察に行きましたので、意見交換の場を持って、さらに深く伊豆市の現状の把握に努め、政策提言できるよう、知見を深めたいと思います。

陳情者とも協議し、請願としていくか検討も行いたいと思います。

以上報告いたします。